

平成26年度「全国学力・学習状況調査」の結果概要について

宇都宮市立城山中学校

家庭や地域から「信頼される学校」であるためには、学校の状況や生徒の実態を保護者や地域の方々に十分御理解いただく必要があります。その上で、家庭や地域と一体となって生徒を育てることが大切であると考えています。

こうした考えから、平成26年度「全国学力・学習状況調査」における本校生徒の学力や学習状況の概要について、以下のとおり公表します。

また、調査結果は、学習指導の工夫・改善に役立てることが大切ですので、調査結果の分析、指導の改善策などを併せて掲載します。

【調査の概要】

1 目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況等の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査期日

平成26年4月22日(火)

3 調査対象

小学校 第6学年(国語A・B, 算数A・B, 児童質問紙)

中学校 第3学年(国語A・B, 数学A・B, 生徒質問紙)

4 本校の参加状況

① 国語A 101人 国語B 101人

② 数学A 101人 数学B 101人

5 留意事項

(1) 本調査は、対象となる学年が限られており、実施教科が国語、算数の2教科のみであることや、必ずしも学習指導要領全体を網羅するものでないことなどから、本調査の結果については、児童が身に付けるべき学力の特定の一部であることに留意することが必要となる。

(2) 本校の傾向等を分かりやすく示すために分類・区分別の平均正答率などを公表した。

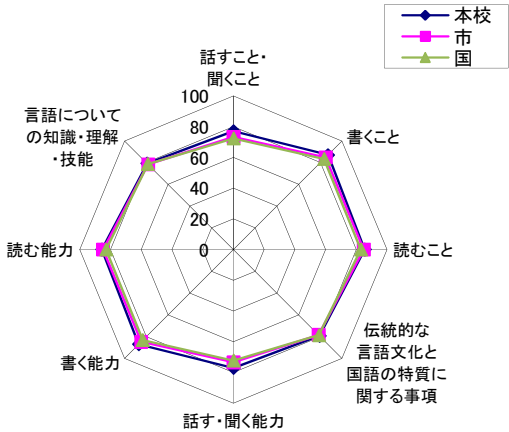
(3) 平均正答率の数値は調査結果のすべてを表すものではないため、「本年度の状況」、「今後の指導の重点」などの分析を併せて記載した。

宇都宮市立城山中学校第3学年【国語】分類・区分別正答率

★本年度の国、市と本校の状況

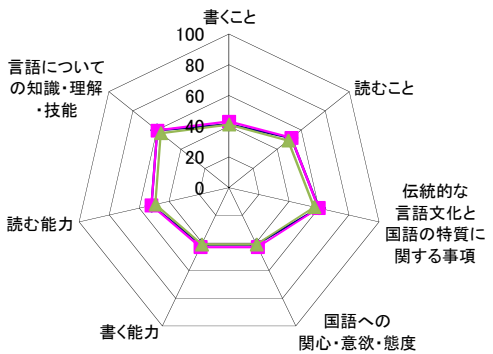
【国語A】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域等	話すこと・聞くこと	77.0	73.4	72.3
	書くこと	87.1	84.9	83.4
	読むこと	85.5	84.8	82.9
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	79.3	78.5	78.7
観点	国語への関心・意欲・態度			
	話す・聞く能力	77.0	73.4	72.3
	書く能力	87.1	84.9	83.4
	読む能力	85.5	84.8	82.9
	言語についての知識・理解・技能	79.3	78.5	78.7



【国語B】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域等	話すこと・聞くこと			
	書くこと	41.3	43.0	41.0
	読むこと	51.7	51.9	49.2
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	59.9	59.7	56.8
観点	国語への関心・意欲・態度	41.3	43.0	41.0
	話す・聞く能力			
	書く能力	41.3	43.0	41.0
	読む能力	51.7	51.9	49.2
	言語についての知識・理解・技能	59.9	59.7	56.8



★国語に関する質問紙調査の状況

○良好なもの ●課題が見られるもの

○「国語の勉強は好きですか」という質問に、70、3%の生徒が、「好き、どちらかという好き」と答えており、県の平均を9、0ポイント上回っている。また、「国語の勉強は大切だと思うか」という質問にも、97、1%の生徒が肯定的な答えであり、県の平均を5、6ポイント上回っている。国語に対して、大切だと思って意欲的に取り組んでいると思われる。

●「読書は好きですか」という質問には、71、3%の生徒が、「好き、どちらかという好き」と答えているが、県の平均から4、5ポイント下回っていた。朝の読書が生徒の興味・関心につながっていないことが課題ととらえる。

★指導の工夫と改善

○良好なもの ●課題が見られるもの

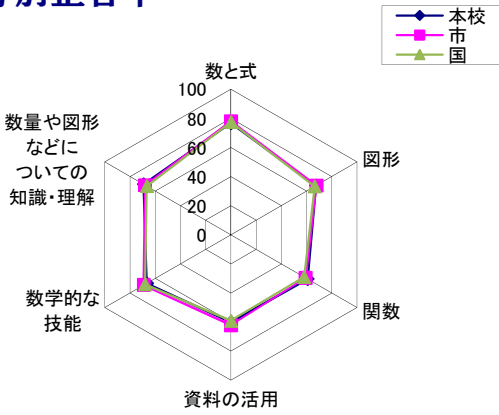
分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	○「二人の発言を聞いて、意見の相違点を整理する」「フリップの効果の説明したものから、適切なものを選択する」など全ての項目で県の平均を上回った。	今までも同様聞き取りテストを行うとともに、授業のいろいろな場面で、「自分の考えをまとめて、わかりやすく発表する」機会を意識的に設けていく。
書くこと	○「中学校のウェブページの項目として適切なものを選択する」「主語を置き換えて行事の記録を書き直す」などは97%、86%と高い正答率であった。 ●「水の中に浸すと、切手をきれいに洗うことができる理由を書く」「落語の演じ方を選択し、なぜそのように演じるのかを、想像して書く」など、理由を説明することを苦手としている。	「なぜそのようになるのか」などの理由を説明することが苦手である。授業の中で「なぜ」を考える場面では、自分が考える理由をノートにまとめて確認しあう時間をとるようにしていきたい。
読むこと	○「語句の意味をとらえる」「主人公の心情を説明する」の項目は84%と、高い正答率であった。 ●「主人公が考えた理由を答える」「次々と簡略化していった理由を説明したものを選択する」など、理由を説明したものを読み取ることを苦手としている。	「書くこと」と同様、「なぜ」という理由を読み取る内容を取り上げ、グループで話し合う機会を設けていく。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	○「稚魚」の読み、「適切な語句の選択」「適切な敬語の選択」などは90%と高い正答率であった。 ●「半径」という漢字の書き取りと、「古文にあてはまる言葉を昔話の中から抜き出す」の項目の正答率が低かった。	漢字の小テストを定期的に行うとともに、漢字だけでなく「慣用句」「ことわざ」「四字熟語」「故事成語」なども機会をとらえて指導していく。

宇都宮市立城山中学校第3学年【数学】分類・区分別正答率

★本年度の国、市と本校の状況

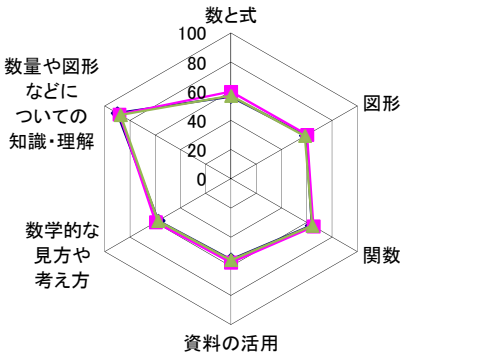
【数学A】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域等	数と式	76.7	78.0	77.4
	図形	67.5	67.8	66.4
	関数	60.8	59.3	58.0
	資料の活用	60.1	62.2	59.1
観点	数学への関心・意欲・態度			
	数学的な見方や考え方			
	数学的な技能	66.8	69.3	68.2
	数量や図形などについての知識・理解	69.3	68.2	66.8



【数学B】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域等	数と式	56.4	59.8	56.9
	図形	59.4	60.3	58.6
	関数	64.0	65.5	64.4
	資料の活用	55.4	57.5	55.9
観点	数学への関心・意欲・態度			
	数学的な見方や考え方	57.6	59.6	57.9
	数学的な技能			
	数量や図形などについての知識・理解	90.1	88.4	87.5



★数学に関する質問紙調査の状況

○良好なもの ●課題が見られるもの

○数学の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えようとする生徒が8割を超えており、粘り強い考え方ができるようになってきた。
●数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用しようとする生徒は4割弱と半数を切っており、これからの課題ととらえることができる。そのことは、数学Bの問題の難易度の高さの感じ方が全国と比べても高いことから読み取れる。

★指導の工夫と改善

○良好なもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
数と式	○県や全国とほぼ同程度の正答率である。とくに、文字を利用して式を作る問題では、全国平均を上回っている。 ●不等式や連立方程式を解く問題が苦手であり、全国平均を大きく下回った。	式を作り出す力はあるので、それをどのような手順で解いていくのかについて、丁寧な指導していく。
図形	○県や全国とほぼ同程度の正答率である。線分や面との位置関係を考える問題では、全国平均を大きく上回っている。 ●体積の比較問題は、30%の正答率でかなり低い。また、 n 角形の内角の和を求める式を利用して考えるような問題に苦手意識がある。	平面、空間における位置関係を考える問題はよくできている。計算が混ざる問題が苦手である。体積を求めたり、角度を利用して全体の図形を考える問題に重点をおいた指導をしていく。
関数	○県や全国よりもやや上回った正答率をとっている。特にグラフを読み取る問題では、10%近く上回る結果を残した。 ● x 、 y の値から、式を導く問題ができていない。	関数全般でみると、大変よく理解できていることが分かる。しかし、値から計算によって式を割り出すことが苦手なので、今後重点的に指導していく。
資料の活用	○県や全国とほぼ同程度の正答率である。ヒストグラムや実験値に関わる問題はよくできている。 ●相対度数の問題は50%を切る正答率となっている。	基本的な考え方は身につけているが、相対度数や確率を計算で求める問題ができていない。計算を利用した考え方を詳しく指導していく。

宇都宮市立城山中学校第3学年生徒質問紙調査

★傾向

- ・朝食を毎日食べているか、毎日同じ時刻に寝ているかなどの問いに対する肯定割合が高い。特に朝食については(している どちらかといえばしている)で100%ポイントになっている。
- ・自分には、よいところがあると答える割合も84. 1ポイントで県や全国と比べても11～17ポイント高い。
- ・将来の夢を持っていると答える割合も7～13ポイント高い。
- ・学習時間については2時間以上平日に学習すると答える生徒が31. 7ポイントであるが、県や全国より3～4ポイント低くなっている。しかし、土日は49. 6ポイントで3～10ポイント高くなっている。また、平日の学習時間が1時間より少ないと答えた生徒が29. 8%いる。(県とは同等、全国よりは下回る。)土日では17. 8ポイントだが、県(25. 8ポイント)、全国(32. 5ポイント)よりは、かなり下回っている。